

毎月20日は ペットフードの日



夏バテ気味のペットへのフードの与え方

一般的に、皮膚を被毛で覆われているペットは、汗腺がある部分が少ないため、体温調節が苦手とされています。家族が、様々な工夫をして、夏場に弱いペットも暮らしやすく、快適で健康な食事が摂れるように工夫と対策をとってあげることが重要です。

犬 猫

ペットフードの使い分け

夏バテ気味のペットには、水分含有量の多い、ウエット（缶詰・レトルト）フードやセミモイストタイプ等のフードを与えることも、1つの方法です。水分含有量の多いフードは、食べるスピードが速くなるため、適量であっても、与える量が少なかったかのように感じられる事があります。肥満などを防ぐためにも、適量を守って与える事をお勧めします。また、主食として与える場合は、「総合栄養食」と記載してあるウエットやセミモイストフードを選ぶ、もしくは、「間食その他目的食」の場合は、「総合栄養食」と併用し、栄養バランスに注意する事をお勧めします。

犬 猫

ウエット（缶詰・レトルト）タイプの特徴

柔らかく食べやすい食感が好まれます。水分含有量が80%程度。風味が良く、食べやすく、栄養素といっしょに水分も摂取することができます。保存性は、缶やレトルトを開けるまではおいしい風味が保持されていますが、開封後は、別の容器に移し替えて、冷蔵庫に保管しなるべくその日のうちに使い切るようにしましょう。

犬 猫

セミモイストタイプの特徴

食べ応えのある適度な弾力感があり、水分を約25~30%程度含んでいます。柔らかい食感で、ドライフードを食べにくいペットにも食べやすいフードです。開封後は封をして、出来るだけ早く使い切るようにしましょう。



 一般社団法人
ペットフード協会

ペットフード/ペットマナー検定公式テキストより